

中村文子

清見がた清き濱邊にさまよひて

あかず眺むる富士の神山

折にふれて

東くめ子

家にまつ妻に見よとて束ねこし

心も色もふかきすみれよ

紅染のうぶきぬはんと手にとれば

まだみぬ稚兒のおもかけにたつ

ピアノ弾く君か手の上にこぼれくる

瓶の櫻はこゝろあるらし

山吹のまばゆき色にあくがれて

道ならぬ道に迷ふ世の人

波と見ん雲さへたゝぬ空の海に

むらがりのほるのほり鯉かな

自轉車三首

ひびかし

さくら咲く木の下蔭を君とわれ

自轉車驅りていそぎゆくかな

風を切りて乗り行く我を賤の子らが

早いなあと許りあきれ見る哉

いそぎ行く櫻ばやしに風起り

鬢髪そよぎて落花顔をうつ

月のかけ

つねを

やへも一と重も 葉になつて

みどりいろく かげりゆく

さくらはやしの ほとゝぎす

旅ねさびしき 夕ぐれを

いづこに行くか ひと聲の

外のはなづく夜 さやかにも

名のはつ音の いとけなく

軒ばいふせき さみだれの

ふり來しとの なつかしく

なみだは見えぬ 人知らぬ

汝こそしらね　しのび音に
われも泣きけり　月のかけ

Let parents then bequeath to their children,
not riches but the spirit of reverence.

—(plato)

子孫の爲めの遺寶には富を以てせずして崇敬心
を以てせよ
(プラト)

説林

歐米の家庭教育及幼稚園

保育視察談 (承前)

下田次郎



幼稚園に關する事教育に關する事は此の位に致
しましてこれから子供遊びとか玩弄物の事、そ
れから家の中の掃除の工合、或は動物に對する子
供の觀念などに付て申します、西洋では大都會の
往來は煉瓦とか木とか叩きで敷き詰めてあつて兩
方壁でカラ／＼で、土も無く大通りの外は木も無